

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-692

課題名 :

三世代コホート調査を用いた受精時期と子の肥満リスクに関する観察研究

1. 研究の対象

「東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査」に参加された方

2. 研究期間

2025 年 11 月 (研究実施許可日) ~ 2028 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

試料・情報の利用及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 12 月 10 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

肥満は心疾患、脳血管障害、一部のがんなどの原因となります。肥満の予防と治療には適切な食事管理と習慣的な運動が第一選択となります。しかし、これらの行動変容を継続的に実施することは容易ではありません。そのため、肥満や生活習慣病を予防するための第二、第三の方法の確立は社会的な重要課題といえます。

最近、私たちの研究グループは、寒い時期に親が妊娠して生まれた子では褐色脂肪組織によるエネルギー消費が高まり、肥満しにくい体質になることを発見しました (Yoneshiro T et al. *Nat Metab* 2025)。この「親から子へ引き継がれる熱産生体質」は、これまでになかった生活習慣病予防法の足掛かりになる可能性があります。

しかし、世代を超えた肥満リスクの決定についてはまだ一つの仮説を提唱しただけに過ぎず、大規模な調査研究によるさらなる証明が不可欠です。そこで本研究では、東北大学にて 2013 年に世界初の出生三世代研究として立ち上がった「東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査」で取得された妊娠時期と出生後の子どもの体格指数や体組成、環境要因、生活習慣等の情報を解析し、受精時期と肥満度の関係を確定することとしました。同時に子ども、子どもの同胞、子どもの祖父母、その他親族の上記データとの関連も解析します。

5. 研究方法

今回の研究では、最終月経日から推定した受精時期・季節と子の体格指数・肥満関連パラメータを解析します。また、両者の関連におけるその他の因子 (両親、祖父母、同胞、その他親族の体格・体組成、生活習慣、環境要因、遺伝的要因等) の関与の有無も調べます。これにより、気象要因への曝露による世代を超えた疾患リスクの制御を確定し、新たな予防・治療方策を考案に向けた基盤エビデンスを構築します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究に関してあなたから新たに取得される試料・情報はなりません。既にご提供いただいている情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。また、研究対象者様の個人を特定できないよう加工した状態でデータを利用します。本研究の実施内容は、東北大学大学院医学系研究科研究倫理審査委員会の審査を受けております。上記1の研究で得られた情報のうち、下記の試料・情報を利用します。

情報:対象者の基本情報(性、生年月、続柄)、調査票、カルテ、母子健康手帳、乳幼児健診、学校健診、生体試料検査、生理学的検査、アレイ解析によって情報化されているゲノム配列情報(インピュテーション済み)、母親の居住地の郵便番号(5桁)

本研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報明らかにしないようにした上で、学術集会や学術雑誌で公表します。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利益相反の開示を行っています。

この研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 革新的先端研究開発支援事業 (AMED-CREST) 補助金、共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 補助金、日本学術振興会 (JSPS) 基盤研究 (B) を使用して実施されます。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究について、その他の開示すべき利害関係は現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたいうで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に情報が用いられることについて、研究対象者様もしくは研究対象者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年12月9日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者様に不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者様の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。その他にも、この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

担当者の所属・氏名:東北大学 大学院医学系研究科 分子代謝生理学分野 米代武司
住所 :宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1
連絡先:TEL: 022-717-8117 EMAIL: takeshi.yoneshiro.a8@tohoku.ac.jp

東北大学の研究責任者:東北大学 大学院医学系研究科 分子代謝生理学分野 米代武司

◆個人情報の開示等に関する手続

当機関が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。保有個人情報とは、当機関の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合